

第6回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会
2015年6月13日(土)～14日(日)
@つくば国際会議場(茨城県つくば市)

プレコンgresワークショップ2	
タイトル	誰も教えてくれなかった診断学・中級編
日時	6月12日(金) 15:30-17:30
企画責任者	渡邊 剛史 (公募企画)
定員	30名
開催の目的・概要	
<p>【概要】</p> <p>診断推論とは「疾患の存在を明らかにし、解決する際の思考過程」と定義される。経験豊富な臨床医はこれを経験や知識に基づき無意識に頭の中で行っている。研修医や学生が診断の過程でつまずく原因としてこのような思考過程を言語化し、わかりやすく学ぶ機会がなかったことが一因と考えられる。近年、思考プロセスに重きを置いた書籍や診断推論カンファレンスが増えつつあるが、これを経験できるのは一部の地域や教育病院に限られている。</p> <p>我々は診断能力に長けたベテラン臨床医の思考過程や若手の医師が診断に行き詰まる要因を分析し、思考プロセスを経験できる試みを学会や勉強会などを通して行ってきた。今回は所見が多系統・多臓器に渡り Problem list が膨大になる複雑な症例を取り上げ、診断に収束させていくプロセスを体験するワークショップを開催する。</p>	